

長野県が実施する保健事業について

長野県健康福祉部健康増進課
国民健康保険室

1 背景

- 国保制度改正により、長野県も国保の保険者となった。
- 長野県は国保財政運営の責任主体として、安定的な国保財政を運営するため、支出の低減＝医療費の増加抑制を図る必要がある。
- 国の交付金の「保険者努力支援制度」や「都道府県ヘルスアップ支援事業」を活用し、収入を増やすと同時に、健康づくりなどの保健事業の取組みを推進する。

⇒市町村と連携した保健事業の取組強化が重要

2 平成30年度に実施する事業

…市町村と連携した健康づくりの推進 [下記の網掛けの事業]

(1) 趣旨

- 平成27年都道府県別平均寿命で男性が2位に後退
- 生活習慣病のリスクや脳血管疾患による死亡率の高さなどの課題が明らかに



これらの課題を克服し、健康長寿県としての地位を維持できるよう、国民健康保険の広域化により県も保険者となることを契機に、

- ①県民の健康課題を「見える化」し、保険者（市町村、協会けんぽ等）や企業経営者と共有して、保険者が行う保健事業や企業の健康経営を支援するほか、
- ②県民の生活習慣の改善に向け、ターゲットを明確にした上で、運動、健診、食に係る徹底的な情報発信と健康づくりへの行動変容を促す取組を強化



信州ACE（エース）プロジェクトをより一層強力に推進！

(2) 事業内容

①「見える化」を通じた学び（気づき）による健康づくり

■「見える化」による健康課題の共有

主な取組	内 容
<p>新 健康課題の見える化と共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○国民健康保険の広域化を踏まえ、保険者として、医療費や健診データ等を市町村別に分析し、地域の健康状態を「見える化」 ○地域の健康課題を、保健福祉事務所から市町村に提供し、共有
<p>新 市町村のデータヘルス支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村が行う保健事業の効果的、効率的な実施を促進 ▶県支援チームが、市町村のデータ分析、事業評価を支援 ▶保健福祉事務所が、市町村の実施するデータヘルスを支援
<p>新 健康経営の必要性を意識付け</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○企業の業種別、従業員規模別などのデータ分析により、働き盛り世代の健康状態を「見える化」 ○経済団体・業界団体へ提供し、課題を共有

■市町村事業の支援

主な取組	内 容
○運動の取組を支援する環境整備【A】	○協会けんぽが働き盛り世代を対象に実施する参加型ウォーキングの実施に合わせた、健康づくりイベントの実施 ○市町村や事業所の運動指導者を対象とした研修会の開催 ○運動の実践方法を助言・指導するアドバイザーの派遣
㊦ ライフステージ別課題に応じた生活習慣改善実践【E】	○「若者・子育て世代の食生活への意識の低さ」や「65歳以上女性の低栄養傾向」など、ライフステージ別の健康課題を地域ごとに取り上げ、健康に配慮した食生活や適切な栄養摂取の取組を実践

②学びの実践（ターゲット毎の課題解決）による健康づくり

■健康経営に対する支援

主な取組	内 容
㊦ 働き盛り世代の健康づくり支援【A】	○協会けんぽ等の保険者と協働で、スマホアプリを活用した働き盛り世代対象の参加型ウォーキング『事業所対抗“学んで”“歩く”90日!』を全県展開 ○（再掲）働き盛り世代の家族を対象に、市町村による運動習慣定着の取組を促進
○保険者と連携した受診しやすい環境づくり【C】	○「市町村国保×協会けんぽ」等、保険者相互乗り入れ健診の拡大実施による受診機会の増加 ○統一広報ツールを活用した各保険者による受診勧奨強化
㊦ 健康に配慮した食環境整備【E】	○健康に配慮し、かつ人気のある社食メニューの開発を支援するセミナーの開催
㊦ 信州ACE（エース）プロジェクト普及・発信	○効果的な健康づくりに取り組んだ企業を「ACEフォーラム」（県民大会）で表彰し、県民に「見える化」して発信

■ターゲットごとに共創する取組

[ターゲット：若者と働き盛り世代]

主な取組	内 容
[ターゲット：若者] ⑧ 大学生による学びの場の創出 【E】	○管理栄養士を目指す県内大学生が、地域の食と健康課題について学ぶため、栄養士、食生活改善推進員と交流する場を創出 ○食生活改善推進員の実践活動を強化する研修会の実施
[ターゲット：若者] ⑨ 「野菜を食べよう！」キャンペーン 【E】	○生活習慣病予防のための野菜摂取の重要性について集中的な啓発を行うとともに、行動変容につなげるための具体的な取組方法を発信
[ターゲット：若者・働き盛り世代] ○県民参加型キャンペーンの実施 【A・E】	○SNSを活用して、健康づくりの具体的な取組手法を普及、発信 ○県民が、自らが行った健康づくりの取組をSNSに投稿するキャンペーンの実施
[ターゲット：若者・働き盛り世代] ○減塩・野菜摂取の働きかけ 【E】	○食生活改善推進員が学校、企業を訪問し、減塩、野菜摂取を普及
[ターゲット：若者・働き盛り世代] ⑩ 健康に配慮した食環境整備 【E】	○健康に配慮したメニューや弁当を選択できる環境整備の促進 ○県内大学生がSNSを活用して健康に配慮した食生活について情報発信
[ターゲット：働き盛り世代] ⑪ 働き盛り世代の健康づくり支援 【A】	○(再掲)協会けんぽ等の保険者と協働で、スマホアプリを活用した働き盛り世代対象の参加型ウォーキング『事業所対抗“学んで”“歩く”90日!』を全県展開

■ターゲットごとに共創する取組

[ターゲット：高齢者]

主な取組	内 容	
[ターゲット：高齢者] ① 運動習慣の定着促進 【A】	○シニア大学における、講座開始前のご当地体操の実施、ポールウォーキング講座、歩行ケア講座の開催	
[ターゲット：高齢者]		
フレイル対策	① 人材育成プログラムの開発・実施	○「長野県版フレイル予防人材育成研修プログラム」を開発し、医療・介護の専門職を対象に研修を実施
	① 歯科保健に携わる職種への研修	○歯科保健に携わる職種を対象としたオーラルフレイル予防についての普及活動を実施
	① フレイル予防の推進と評価	○フレイル予防等に係る市町村の取組成果を県下一律の基準で評価するため、モデル市町村を選定して指標を検討
	① 介護予防等推進研修	○フレイル予防等に関する知識や技術を習得し、高齢者の自立支援に資するための研修を実施

⇒フレイル：加齢により、筋力や認知機能が低下し、生活機能障害・要介護状態の危険性が高まった状態

■ターゲットごとに共創する取組

[ターゲット：全世代]

主な取組	内 容
① 健診受診の必要性を意識付け 【C】	○薬局、スーパー、コンビニ等、県民が身近な場所で自ら血圧のチェックを行うことができる環境整備（患者のための薬局ビジョン推進事業）
① 無関心層に対する意識の喚起	○県民の健康意識を喚起するとともに、健康づくりの取組とその継続を下支えするため、市町村や保険者とともに健康ポイント制度を研究し、モデル事業を試行

③多様な主体の“自治力”をつなげ・共創する体制づくり

主な取組	内 容
① 連携推進体制の構築	○市町村、関係団体、健康関連企業など、意欲ある関係者と連携するプラットフォームを構築し、具体的な対策を推進
① 長野県自治力による健康づくり推進会議（仮称）の設置	○国保制度改革を踏まえ、県と市町村が健康課題を共有し、一体的に取り組む体制の構築

3 都道府県ヘルスアップ支援事業

☞ 都道府県ヘルスアップ支援事業とは・・・

都道府県が、

- 市町村ごとの健康課題や保健事業の実施状況を把握するとともに、
- 市町村における保健事業の健全な運営に必要な助言及び支援を行うなど、
- 共同保険者としての役割を積極的に果たすために実施する保健事業

(1) 交付対象事業

(A) 市町村が実施する保健事業の更なる推進に資する基盤整備

市町村が実施する保健事業に応じた基盤整備を行い、円滑な保健事業の運用を図る事業
(取組例) 都道府県レベルの連携体制構築(連携会議の開催等)、人材育成

(B) 市町村の現状把握・分析

市町村及び都道府県において、PDCAサイクルに沿って事業を効果的・効率的に運用するために現状を分析して把握する事業
(取組例) KDBと他のデータベースを合わせた分析

(C) 都道府県が実施する保健事業

都道府県の特長や人的リソース等を活用して、都道府県が直接実施する事業、又は、市町村が実施する保健事業を個別に支援する事業

(取組例) 保健所を活用した取組(保健所の専門職による保健指導支援等)

(2) 交付の要件

- 事業の目的、目標、対象者、事業内容、実施方法、評価体制・方法、実施体制、実施スケジュール、実施期間、実施場所等を明確にすること
- 予めストラクチャー指標、プロセス指標、アウトプット指標及びアウトカム指標の4つの評価指標のうち3つ以上の評価指標を設定し、PDCAサイクルに沿った事業実施をすること
- 実施計画の策定段階から、第三者(有識者会議、支援・評価委員会等)を活用すること
- 市町村が実施する保健事業との連携・機能分化を図り、管内市町村全域の保健事業が効果的・効率的に実施するために必要な取組と認められる事業であること

(3) 交付限度額

国保被保険者数に応じて、1,500万円～2,500万円

被保険者数	25万人未満	25万人～ 50万人未満	50万人～ 75万人未満	75万人～ 100万人未満	100万人以上
交付限度額	1,500万円	1,750万円	2,000万円	2,250万円	2,500万円